

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年1月16日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4677400139号
法人名	社会福祉法人 恵誠会
事業所名	グループホーム 花神荘
所在地	鹿児島県肝属郡肝付町後田2542-1 (電話) 0994-65-7666
自己評価作成日	平成24年1月16日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年2月17日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・利用者の方が楽しみにしている入浴を毎日提供しています。毎日の入浴により体調の変化や身体の確認など状態を把握できる事や「お風呂に入ると安らぐ・気持ちがいい」という声から「心のケア」にも繋がっていると思っております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然に恵まれ、明るくゆったりとした環境の中に立地しているグループホームである。法人は他にも特別養護老人ホーム・デイサービス・訪問介護事業所・居宅支援事業所・肝付町委託の包括支援センター等を運営して長年地域の福祉の一端を担っている。協力医療機関との連携も24時間体制で図られ、緊急時や重度化・終末期における協力関係も築かれている。ハード面も充実しており、広々とした敷地には家庭菜園が作られ、収穫を楽しみにしている利用者もいるほか、日光浴を兼ねて庭のベンチで過ごし、ときにはお茶や昼食を庭で楽しむなど、ハード面を活かしたホームに閉じこもらない生活を支援をしている。また、毎日入浴することを日課にしており、出来るだけ、家庭に近い時間帯で3時過ぎから入浴タイムとして、職員も二人配置するなどして支援している。利用者も一日の日課である入浴を楽しみにしており、コミュニケーションの時間にもなっている。車イスを利用している利用者もいるが、あくまで移動の手段として捉え、必ず、椅子やソファに移乗させて生活にメリハリをつけたり、危険防止とホームの方針であるトイレでの排せつ支援のために夜間でもポータブルトイレの使用はしない支援など少人数のグループホームだからこそできる個々に応じたきめの細かいケアがなされている。職員間のコミュニケーションが図られ、介護の経験豊かな職員が多く、知識と技術を活かして職員間で助け合い、お互いに向上心を持って日々の業務に励んでいる。管理者・職員はマンネリ化することなく利用者への更なるサービスの質の向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・理念に基づいた取り組みができるように日々励んでいる。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作成し、玄関、ホール内に掲示している。職員会議の中で理念を確認することもあり、理念の共有と実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・月1回は振興会長宅を訪問し、連絡を取りながら自治会の行事、子供会の行事など地域の活動に参加し交流を行なっている。	地域の子ども会による十五夜相撲、鬼火焚き見学や町民運動会、流鏝馬踊り、作品を出品している文化祭などに出かけ、利用者は地域住民との交流に努めている。また、中学生や高校生の実習や福祉体験学習の受け入れも行い子ども達との交流がある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	・地域で活用できるものであれば利用してもらえるように呼びかけている。振興会の集まりでもGHで出来る事があれば協力する事を積極的に呼びかけ、敷地内の駐車場など近隣・隣家の方が利用されている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・地域資源・サービスの情報提供をもらったり、サービス提供の現状を報告する事で、助言や指導をもらい見直すことができる。	運営推進会議は2ヵ月に1回、地域振興会長・家族代表・法人理事長・事務長・行政などの参加で定期的開催している。ホームの状況報告や行事報告、行政及び地域からの情報提供などが主な議題となっている。ときには外出傾向の利用者の安全対策なども話し合わせ、ホームの運営に活かされている。	

鹿児島県 グループホーム花神荘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・担当者や運営委員のみではなく、気軽に市町村へ出向いたり連絡を取りながら相談をしたり資料を頂いたりしている。	日頃より連携を図り、協力関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束は禁止されている事もあり、拘束をしないケアに取り組んでいる。その事から日中は鍵をかけていない。出入り口は何処も開放されており自由に出入りできている。	重要事項説明書に「緊急やむをえない場合を除き身体拘束は行いません」と明記し、拘束のないケアの実践に取り組んでいる。法人内研修や毎月のユニット会議などでも拘束や虐待について話し合いの機会を設け、職員に意識付けを行っている。日中は玄関に施錠せず、職員間の連携で安全で自由な生活を送れるように支援している。外出傾向のある利用者には職員が着いて行くなどして対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・法人の研修会、GHの職員研修会で虐待防止法について話し合っている。また、日頃も注意を払い虐待の防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・権利擁護事業や成年後見人制度の研修を受け学ぶ機会はある。しかし、現在のところ対象者はいない。		

鹿児島県 グループホーム花神荘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約に関する事項に対しては納得が出来るように説明している。また、契約に関する事項でその内容の変更があった場合は、その都度家族へ文書を発行し同意をもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・利用者の意見はその都度聞きながら、お茶の時間や職員会議で話し合いを行い、早急に改善が出来るように努めている。</p>	<p>重要事項説明書に第三者委員も明記し、外部者に表せる機会を設けている。また、面会時や電話連絡時に個別に意見や要望を聞き出すようにしている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・日常的に職員の意見が反映できるように心がけている。</p>	<p>毎月、全員参加で職員会議とユニット会議を行って意見交換や話し合いを行っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>・年2回勤務評価表にて評価する。その評価が賞与や昇給へ反映し個人差がある事で、個人個人に向上心や責任感が生み出せている。職場環境なども職員会にて話し合いの場を設けその都度整備に努めている。</p>		

鹿児島県 グループホーム花神荘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・法人内の研修会やGHの職員会議、市町村・郡・県の研修会へ参加する機会をつくっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・町内のGH従業者が集まり、研修会や交流を図る場へ参加している。また、町内・町外のホームや施設と連絡を取ったり訪問しながら情報交換をし、職員間で紹介をしながら質の向上に繋がるように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・事前に本人と面会しながら、少しずつ顔馴染みとなり、心配事や困っている事を受けることで本人の不安解消が出来るように取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・入所申し込み時や、ホーム見学の時に心配事や困っているを受ける機会をつくっている。また、関係者より情報収集をしながら不安解消ができるように取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人、家族が必要な支援に着いて相談がある時は提供方法などについて話を聞いている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・一緒に過ごす事で、人生の大先輩として学ぶ姿勢や支えあう関係作りをしている。利用者から学ぶ事も多い。また、職員も支援しながら支えあいの関係が出来るように過ごしている。		

鹿児島県 グループホーム花神荘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・困っている事や、心配事に対して協力関係が出来るだけ、家族の状況を考慮して迷惑にならないようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・心に残っている場所、自宅・家族宅への訪問や行きつけの場所や店など、できるだけ個別に支援している。例えば、いとこ宅や地域の商店、馴染みの美容室へ出かける。	個々の希望に応じて墓参りや自宅などに連れていくこともあり、なじみの人や場との関係継続の支援を行っている。また、地域の棒踊りなどにも連れていけるように支援している。友人・知人の訪問もあり、訪ねやすいように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・時にはトラブルになることもあるが、利用者同士が険悪な関係にならないように、嫌われる雰囲気や兆しがみえた時は、間に入り話し合いをしたり、少し距離を置いたりなどの配慮をしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・入院や他施設へ入所されても、できるだけ面会に行きなじみの関係が薄れないように取り組んでいる。また、退所後も家族から農作物などの頂き物があったり遊びに来られたり、連絡が来たりのお付き合いがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・本人の話を良く聞きながら、その時の仕草や表情など観察しながら本人の思いを尊重している。本人本位に検討している。	何をするにも本人の意思確認をしてから行うように心がけている。日常の会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合は表情、言動、家族や関係者からの情報などから本人本位に検討して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・本人へ尋ねたり家族からの情報収集により、これまでの生活歴の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・個々の現状が総合的に把握できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・本人や家族・関係者に担当者会議や面会時に話を聞きながら、より良い生活が出来るように課題を見つけ、ケアのあり方について介護計画を作成している。	入居前からの楽しみごとや家族との定期的な外出など、本人の生きがいにつながるようなサービスを取り入れて個別の介護計画を作成している。また、日々の生活記録の内容や職員からの意見・提案など見直しに活かし、現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日々の生活記録については、個々に記録を行い、気づきや言葉かけなど、共有しながら日々の支援へ反映している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・その時の要望により実現が出来るようにしている。オンコールや自宅訪問、墓参り、買い物が出来るようにしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・地域の学生ボランティアや、隣家・地域振興会・消防などの協力をもらいながら、またホームからの協力をもらいながら協働している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・本人・家族と共にかかりつけ医への受診や説明をもらっている。協力医療機関との関係ができており、必要に応じて往診や夜間・緊急時の連絡ができています。また、医師から直接連絡がありその時の個々の様態や状況を聞かれ報告することが出来る。	本人、家族の希望する主治医の受診を支援している。また、協力医療機関とは緊急時など24時間体制で連携が図られている。	

鹿児島県 グループホーム花神荘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・利用者となじみの看護師さんと連絡や相談をしながら、日常の健康管理には十分注意し、異変がある場合も即時病院受診できるように連携を図っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>・入院された時は必要な治療期間のみで本人・家族の要望を考慮しながら、早期退院ができるように面会や医療相談員と連絡・情報交換しながら退院できるようにしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・重度化・終末期のあり方については医師からの説明や家族とよく話し合い、今後のよりよい方針を話し合っている。</p>	<p>重度化や終末期に向けたホームの方針は入居時に説明している。入居後も利用者の身体状況により、主治医の指示のもと家族や関係者と話し合っ方針を共有し、ホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・全職員にて応急手当法や救命救急講習の受講を受け、利用者の急変時や事故発生時に備えている。</p>		

鹿児島県 グループホーム花神荘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・防災避難訓練を昼・夜を想定し訓練している。また、地域の分団・振興会長との連携・消防署への訓練指導を受けながら、協力がもらえるようにしている。</p>	<p>年2回昼夜間想定で避難訓練を行っている。消防分団や地域の方々も避難訓練に参加しており、災害時の協力関係が築かれている。ホームセキュリティとも契約して、より安全対策を強化している。自動通報システム・スプリンクラーは設置済みである。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>・プライバシーを損ねないように気配りや声掛けを行い、入浴や排泄の支援には特に配慮している。その中でも自由に出入りができるように開放的な感じで生活されている。</p>	<p>個々に応じた声かけに心がけ、なれ合いによることば使いにならないように職員の意識付けを行っている。また、定期的に勉強会を行い、職員の資質の向上に取り組んでいる。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>・利用者の意見や希望に沿った支援ができるようにしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・日課は決まっているが、一人ひとりのペースを尊重している。朝食は起きられるまで待ち、就寝も眠くなるまで、テレビを観たり会話をしたりされている。入浴も毎日入られるように支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>・昔から行きつけの美容室や店など、本人の意向を聞きながら、身だしなみやおしゃれができるように取り組んでいる。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・嗜好を聞きながら、毎日の調理をしている。その日の状態に応じて食事準備をしたり、野菜切りや下準備・茶碗洗いをしている。声掛けしても拒否される場合もあり、その時の状況を見ながら支援している。</p>	<p>個々の力量に応じて準備や片づけなど利用者とともにやっている。また、食材の調理方法や切干大根・恵方巻きの作り方などを教わることもある。季節のいいときには気分を変えて、庭で食事やお茶を楽しむこともある。家庭菜園の収穫を楽しんでいる利用者もいる。</p>	

鹿児島県 グループホーム花神荘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・栄養補給や水分補給ができるように支援し、定期的に採血検査を行ないながら家族へ報告し、毎月の体重測定による増減や摂取状態を医師と情報交換し指示を受けながら支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・毎食後、口腔ケアや洗浄ができるように支援し、難しい方は介助しながら口腔清潔維持に取り組んでいる。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・排泄パターンを知り、定時のトイレ誘導・介助を行っている。自分から訴えの出来ない方には、定時及び訴え時に誘導、介助している。動き・行動により「排泄」ではないか、と感じ取りながら誘導・助言により排泄が今の所はうまく言っている状況である。	ホームの方針としてトイレでの排せつを支援しており、夜間も危険防止のためポータブルの使用はせずに職員のコマメなトイレ誘導で支援している。自立している利用者もおり、継続できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・便秘については、日頃の排泄チェックにて管理し体調管理に努め、医師へ連絡・相談をしながら、飲食物の管理・運動をできるように支援している。		

鹿児島県 グループホーム花神荘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・入浴を楽しみにしている方が多く、毎日入浴ができるように支援している。入浴を拒否される方は、清拭や更衣をしながらタイミングをみて入浴されるように取り組んでいる。	毎日入浴することを日課にしており、家庭に近い時間帯で3時すぎから入浴タイムにしている。利用者も入浴を楽しみにしており、コミュニケーションの時間にもなっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・個々の自由に休息ができたり、眠りができるように習慣に応じて支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬や管理については支援している。変化については、医師・薬剤師の説明を受けながら記録・情報交換の共有ができるように支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・観たいテレビをみたり、読書や新聞を読んだりと楽しみや気晴らしが自由にできるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・自宅訪問や行事以外でも、その方の状態・状況に応じて屋外散歩や近隣へのドライブを行い、気分転換を図っている。	天気のいい日は庭のベンチで日光浴をして過ごしたり、ホーム周辺の散歩やドライブなどに出かけている。また、地域行事見学や個別の外出支援、弁当持参の花見や遠足などにも出かけて外出支援を行っている。	

鹿児島県 グループホーム花神荘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・お金の所持は自由にされている。本人の希望にて買い物に使われたり、家族の面会時にやり取りされたり自由にされている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・本人の話を聞いたり、心配事がある時は本人から電話をかけたり、定期的に家族から電話が来たりで取り次いでいる。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・部屋の周りにはホールがあり、たたみ間やソファもあり自由に好きな場所で過ごされている。光や日差しが強い場所は日よけを設置し、心地よく過ごしてもらえるように取り組んでいる。</p>	<p>広々としたリビングは天井も高く採光も良く、明るく開放感がある。和室部分、ソファ、ダイニングテーブルがあり、ソファでくつろいでいる利用者、テーブルで職員と話している利用者など思い思いに過ごせるように配慮してある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・共有空間はテーブル椅子・ソファ・畳間とあり居場所は時間により大体一定しています。自由に行き来され、気のあった方や時には1人で過ごされている。</p>		

鹿児島県 グループホーム花神荘 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・常備してあるベット・タンス・クローゼットの他に、仏壇・テーブル・椅子・衣装ケースなど思いのものをゆうに過ごしやすいように置かれている。</p>	<p>入居の際に、使い慣れたものやなじみの物品を持ち込んでもらえるように家族に説明している。手紙を書くことの好きな利用者の居室には机といすが持ち込まれ、テレビ・タンス・仏壇・家族の写真などそれぞれが居心地良く過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・建物内部は、本人が自立できるように段差解消や手摺、自動電灯消灯の設備などがあり、安全に過ごせるようにしている。</p>		



V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム花神荘 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム花神荘 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない